

平成23年度
実施事業

事務事業名	短期人間ドック助成事業
-------	-------------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	004	事業開始年度 平成 1 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 国民健康保険特別会計

部 名	保健福祉部	グループ名	国民健康保険 G
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	40歳未満の若い世代から、生活習慣病の予防を図っていくことを目的とします。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>短期人間ドックを受診した被保険者に対し、次のとおり受診料の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃バリウム実施機関～検診料金36,750円の内、市で34,250円を補助し、本人自己負担額は2,500円 胃カメラ実施機関A～検診料金38,850円の内、市で35,850円を補助し、本人自己負担額は3,000円 胃カメラ実施機関B～検診料金39,900円の内、市で36,900円を補助し、本人自己負担額は3,000円 <p>なお、20歳以上40歳未満の登別市国民健康保険被保険者（原則として保険税滞納世帯を除く）としており、40歳以上の被保険者の短期人間ドックについては、特定健康診査の扱いで位置づけている。</p> <p>【事業実績】（3月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃バリウム実施機関：17人 胃カメラ実施機関A：5人 胃カメラ実施機関B：2人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	生活習慣病等の早期発見・早期治療につなげるためにも事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	883	836	1,057	1,057	1,057
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			883	836	1,057	1,057	1,057

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	主な生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)に係る1人当たり医療費を全道平均以下にする（H23年5月レボト分析：上段が道・下段が当市） 疾病分類121分類より	円	目標値	2,748	4,751	4,751	4,751	4,751
			実績値	2,708	4,179			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<ul style="list-style-type: none"> 負担割合：本人自己負担額は2,500円か3,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も受診しやすい負担額で継続していく。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	短期人間ドックについては、受診しやすい環境づくりが重要であることから、市が検診料金を助成することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	生活習慣病の早期発見・早期治療につながるため必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	市が検診料金を助成する必要がある。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	H23年5月レポート分析より主な生活習慣病に係る1人当り医療費が全道平均以下になっている
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	短期人間ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持していく。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--